

日本經濟新聞

日本經濟新聞

9-1-2014 早報

香港記者 川瀨憲司



陳繁昌校長：[科大的]國際化及屬於中國一部分的優勢日本學生應該與世界交流接觸

香港科技大學陳繁昌校長在與日本經濟新聞的訪問中，談及競爭力的來源及對日本大學的建議。

記者：大學排名的躍進十分令人矚目呢。

「我們不想太過強調排名。我們只是將排名視為我們努力的成果。」

「不只是在香港和中國，我們希望成為世界第一。這是因為科學和工程學並非局限於亞洲。商業方面也非常國際化。為了保持競爭力，我們一方面保持國際化，一方面善用香港屬於中國一部分的優勢。」

記者：科大有何挑戰？

「劇烈的競爭。我們受惠於亞洲的崛起，但亞洲的其他國家同樣著力於提升科學技術的水平。」

陳繁昌校長に聞く

香港科技大学の陳繁昌（トニー・チャン）学長は日本経済新聞とのインタビューで、競争力の源泉や日本の大学への提言などについて語った。

香港科技大学の陳繁昌（トニー・チャン）学長は日本経済新聞とのインタビューで、競争力の源泉や日本の大学への提言などについて語った。

「激しい競争だ。アジアの恩恵を受けてきたが、アジアの他の国や地域も同じように科学技術の水準を高めようとしている。同じ優秀な教授陣を奪い合う状況だ。」

「言葉が障壁になっていくのかもしれない。みな英語は分かるが、普通に使われていない。もって世界と交わって、それによって自らをより良くすることができると思う。」

（香港 川瀨憲司）

陳繁昌（トニー・チャン）氏 香港の高校卒業後、カリフォルニア工科大学で学士と修士、スタンフォード大学で博士号を取得。専門は数学とコンピュータサイエンス。カリフォルニア工科大学ロサンゼルス校（UCLA）の教授や米国立科学基金（NSF）理事、専任代理などを経て、09年から現職。任期は19年まで。61歳。

「国際的・中国の一部」強み
日本の学生、世界と交流を

つてきたことの結果と受ける。競争力を保つには、け止めているからだ。」

「香港と中国だけではない。国際的でありながら、中国の一部であるという利点を生かすことだ。」

「心算はとも少ない。日本で積極的な呼び掛けをしていないこともあるが、韓国からは多い。」

我們爭奪同樣優秀的教授陣容。」

記者：來自日本的學生呢？

「報讀人數很少。日本沒有熱烈的需求，但韓國的需求則很大。」

「語言可能成爲了障礙。雖然大家都懂得英語，但卻不是經常使用。我認爲，如果能與世界多交流接觸的話，就可以求取進步。」

陳繁昌

中學畢業後，於加州理工學院取得學士及碩士，於史丹福大學取得博士學位。主修數學及計算機科學。曾於加州大學洛杉磯分校擔任教授，及在美國國家科學基金會擔任助理會長，2009年起擔任科大校長至今。現年 61 歲。